

衛研第2-9号
平成29年 5月31日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
4. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
5. 全国及び関東情報
6. Saitama Infectious Agents Surveillance Report
Topics（結核）
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 21 週 (平成 29 年 5 月 22 日～平成 29 年 5 月 28 日)

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 1 人の届出があった。四類感染症は、デング熱 1 人、レジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、ウイルス性肝炎 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 3 人、侵襲性肺炎球菌感染症 3 人、梅毒 8 人、風しん 1 人、麻しん 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**咽頭結膜熱**(0.57→0.88 : 図 1・図 2)の定点当たり報告数は前週より大きく増加し、今後の動向を注視したい。保健所別では 15 保健所管内から報告があり、坂戸(0.17→3.00)保健所管内で大きく増加し、朝霞(1.60)、本庄(1.50)保健所管内からの報告が多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.94→4.33 : 図 3)の定点当たり報告数は前週と比較し増加した。保健所別では、春日部(7.50)、川口(7.35)、熊谷(6.78)、川越市(6.50)保健所管内からの報告が多い。**手足口病**(0.12→0.41)及び**ヘルパンギーナ**(0.06→0.13)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、前者は、東松山(2.40)保健所管内からの報告が多く、後者は、春日部(0.50)、越谷市(0.38)、狭山(0.31)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 3 人、**流行性角結膜炎** 39 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 3 人、**クラミジア肺炎** 1 人、**感染性胃腸炎 (ロタウイルス)** 5 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 人(類型 患者、血清型 0157)
四類感染症	デング熱	1 人(推定感染地域 国外)
	レジオネラ症	2 人(病型 肺炎型 1 人、ポンティアック熱型 1 人)
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人(病型 腸管アメーバ症)
	ウイルス性肝炎	1 人(病型 B 型)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp.)
	後天性免疫不全症候群	3 人(病型 その他 1 人、無症状病原体保有者 2 人)
	侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
	梅毒	8 人(病型 早期顕症 I 期 1 人、早期顕症 II 期 3 人、無症状病原体保有者 4 人)
	風しん	1 人(病型 検査診断例)
	麻しん	1 人(病型 検査診断例)

※1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

※2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 咽頭結膜熱

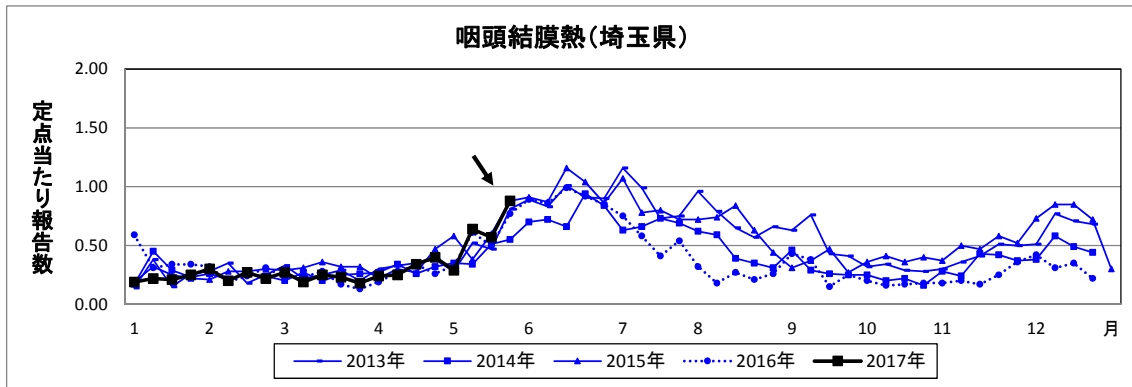


図2 咽頭結膜熱 保健所別の年齢階級別報告数(第21週)

年齢階級別では1歳が46人、2歳が22人、3歳が23人であり、1~3歳で全体の63.2%を占めた。一方、前週より大きく増加した坂戸(1人→18人、定点当たり報告数3.00)保健所管内では、4歳以上の報告が多かった。咽頭結膜熱の原因ウイルスであるアデノウイルスは感染力が強く、幼児から学童での集団生活の場では、感染が容易に広がる可能性が高い。

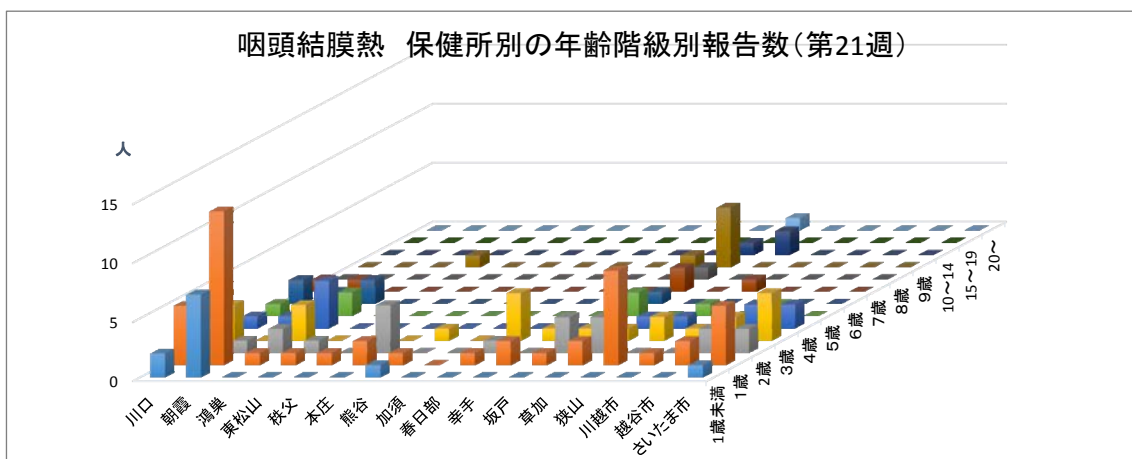
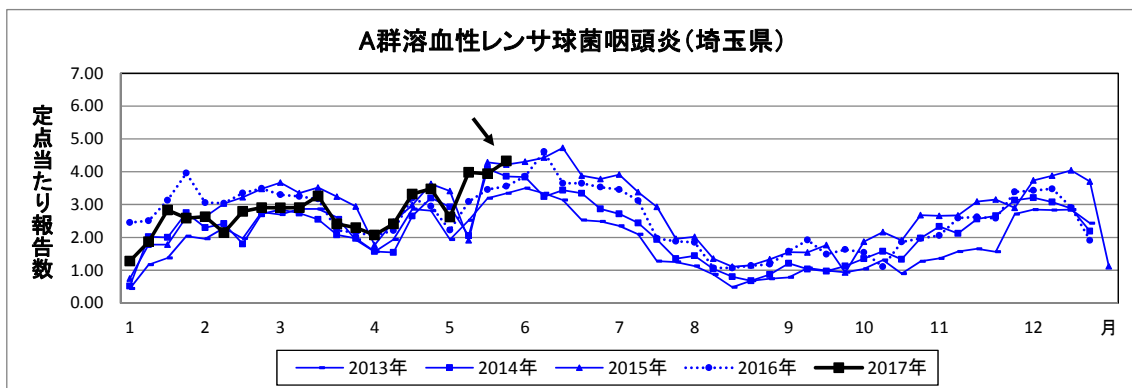


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第21週)

(2017年5月30日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢		3	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	32			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		7	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	17
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱	1	7	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	22	侵襲性肺炎球菌感染症	3	70
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	4	水痘*		8
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	27	先天性風しん症候群		
急性脳炎		22	梅毒	8	75
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	3	16	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		5
ジアルジア症			風しん	1	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症		7	麻しん	1	5
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		4
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										報告患者数										保健所別										平成29年5月22日～平成29年5月28日									
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(口炎)	インフルエンザ(入院)																			
全	92	20	144	706	1346	80	67	19	108	-	22	78	3	39	-	-	-	3	1	5	-																			
川	0.36	0.12	0.88	4.33	8.26	0.49	0.41	0.12	0.66	-	0.13	0.48	0.08	0.98	-	-	-	0.30	0.10	0.50	-																			
川	15	5	18	125	193	8	17	-	14	-	1	8	-	13	-	-	-	*	*	*	-																			
朝	0.58	0.29	1.06	7.35	11.35	0.47	1.00	-	0.82	-	0.06	0.47	-	2.60	-	-	-	*	*	*	-																			
朝	17	1	24	50	165	15	3	2	12	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
朝	0.81	0.07	1.60	3.33	11.00	1.00	0.20	0.13	0.80	-	0.07	0.80	-	0.25	-	-	-	*	*	*	-																			
鴻	9	1	14	61	71	3	1	2	9	-	2	5	-	2	-	-	-	*	*	*	-																			
鴻	0.47	0.08	1.17	5.08	5.92	0.25	0.08	0.17	0.75	-	0.17	0.42	-	0.67	-	-	-	*	*	*	-																			
東	1	-	3	21	20	-	12	1	2	-	-	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-																			
東	0.13	-	0.60	4.20	4.00	-	2.40	0.20	0.40	-	-	0.80	-	-	-	-	-	1.00	1.00	-	-																			
秩	1	-	1	8	16	2	-	3	-	-	-	-	-	*	-	-	-	1	-	-	-																			
秩	0.20	-	0.33	2.67	5.33	0.67	-	1.00	-	-	-	-	-	*	-	-	-	1.00	-	-	-																			
本	3	-	6	3	14	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
本	0.43	-	1.50	0.75	3.50	0.50	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
熊	4	3	3	61	112	7	3	2	4	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-																			
熊	0.29	0.33	0.33	6.78	12.44	0.78	0.33	0.22	0.44	-	0.22	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-																			
加	4	1	-	5	5	3	1	-	7	-	-	1	-	1	-	-	-	*	*	*	-																			
加	0.40	0.17	-	0.83	0.83	0.50	0.17	-	1.17	-	-	-	-	1.00	-	-	-	*	*	*	-																			
春	2	-	6	45	56	1	5	-	5	-	3	1	-	-	-	-	-	*	*	*	-																			
春	0.20	-	1.00	7.50	9.33	0.17	0.83	-	0.83	-	0.50	0.17	-	-	-	-	-	*	*	*	-																			
幸	1	5	4	28	75	2	1	-	5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
幸	0.07	0.56	0.44	3.11	8.33	0.22	0.11	-	0.56	-	0.11	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
坂	2	-	18	12	50	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
坂	0.20	-	3.00	2.00	8.33	0.17	-	-	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
草	1	-	9	23	77	5	12	5	4	-	3	6	-	1	-	-	-	*	*	*	-																			
草	0.05	-	0.75	1.92	6.42	0.42	1.00	0.42	0.33	-	0.25	0.50	-	0.33	-	-	-	*	*	*	-																			
狭	3	1	13	60	91	8	9	1	9	-	5	9	2	4	-	-	-	-	-	-	-																			
狭	0.12	0.06	0.81	3.75	5.69	0.50	0.56	0.06	0.56	-	0.31	0.56	0.40	0.80	-	-	-	-	-	-	-																			
川	7	-	2	52	61	7	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	*	*	*	-																			
川	0.54	-	0.25	6.50	7.63	0.88	-	-	-	-	-	1.13	-	1.00	-	-	-	*	*	*	-																			
越	1	1	9	31	35	-	-	-	5	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
越	0.08	0.13	1.13	3.88	4.38	-	-	-	0.63	-	0.38	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
さい	21	2	14	121	305	16	3	1	30	-	1	18	-	15	-	-	-	1.00	1.00	-	-																			
さい	0.51	0.07	0.52	4.48	11.30	0.59	0.11	0.04	1.11	-	0.04	0.67	-	1.88	-	-	-	-	-	-	-																			

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 5月 30日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第21週 平成29年5月22日～平成29年5月28日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	92	-	1	3	2	14	9	9	11	7	5	6	7	4	4	2	3	4	1	-	-
RSウイルス感染症	20	-	5	12	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	144	-	11	46	22	23	12	7	6	5	1	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	706	1	3	36	47	72	93	99	103	66	56	42	60	3	25	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,346	6	91	207	148	151	153	125	84	76	67	36	92	9	101	-	-	-	-	-	-
水痘	80	-	3	5	5	6	5	10	18	15	4	4	4	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	67	3	4	33	10	8	3	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	19	-	-	2	-	3	5	1	2	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	108	1	35	60	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	22	-	2	5	8	3	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	78	-	-	3	6	3	9	10	16	8	8	9	6	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	39	-	-	2	-	5	5	1	1	-	1	-	2	1	2	8	4	1	4	4	2
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第19週

(5月8日～5月14日)

平成29年5月31日

インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(7.98)、新潟県(4.32)、山形県(3.31)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は67例と前週と比較して減少した。都道府県別では28都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(25例)、10代(3例)、20代(3例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(1例)、60代(1例)、70代(9例)、80歳以上(18例)であった。

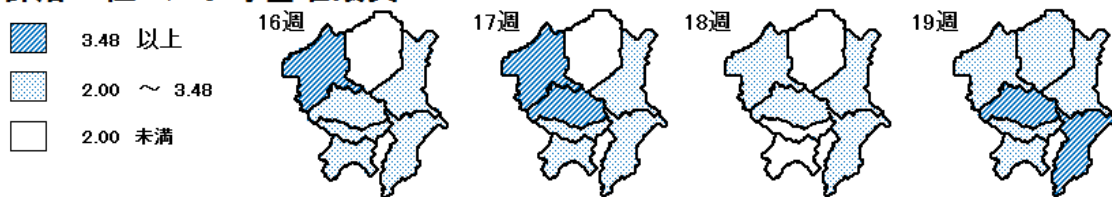
RSウイルス感染症の報告数は636例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は奈良県(1.53)、鹿児島県(1.45)、北海道(1.16)、三重県(1.16)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(8.74)、山形県(6.10)、北海道(4.06)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(14.95)、石川県(13.31)、大分県(11.53)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.67)、福岡県(1.02)、神奈川県(0.82)である。手足口病の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.09)、宮崎県(3.00)、広島県(1.72)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.57)、青森県(0.31)、山形県(0.27)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は和歌山県(2.63)、愛媛県(2.41)、島根県(2.39)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.13)、奈良県(1.00)、沖縄県(0.86)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。46都道府県から319例報告があり、年齢別では0歳(36例)、1～4歳(195例)、5～9歳(73例)、10代(7例)、20代(1例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(1例)、60代(2例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(3.98)、千葉県(3.76)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



		平成29年 19週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,786	1,855	70	129	141	412	276	495	332
	定点当たり	1.37	1.22	0.58	1.70	1.48	1.60	1.28	1.20	0.97
RSウイルス感染症	報告数	636	116	8	2	11	21	8	40	26
	定点当たり	0.20	0.12	0.11	0.04	0.19	0.13	0.06	0.15	0.12
咽頭結膜熱	報告数	2,079	510	33	18	27	105	82	142	103
	定点当たり	0.66	0.53	0.44	0.38	0.47	0.64	0.61	0.54	0.47
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,321	3,034	209	100	195	649	508	746	627
	定点当たり	2.94	3.16	2.79	2.08	3.36	3.98	3.76	2.85	2.88
感染性胃腸炎	報告数	22,893	7,252	406	171	454	1,622	824	2,051	1,724
	定点当たり	7.23	7.56	5.41	3.56	7.83	9.95	6.10	7.83	7.91
水痘	報告数	1,779	615	35	23	13	88	101	176	179
	定点当たり	0.56	0.64	0.47	0.48	0.22	0.54	0.75	0.67	0.82
手足口病	報告数	1,643	156	8	3	11	14	20	61	39
	定点当たり	0.52	0.16	0.11	0.06	0.19	0.09	0.15	0.23	0.18
伝染性紅斑	報告数	249	82	6	3	15	14	9	26	9
	定点当たり	0.08	0.09	0.08	0.06	0.26	0.09	0.07	0.10	0.04
突発性発しん	報告数	1,849	641	20	36	36	110	89	203	147
	定点当たり	0.58	0.67	0.27	0.75	0.62	0.67	0.66	0.77	0.67
百日咳	報告数	35	6	-	-	-	1	4	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.03	-	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	307	40	2	2	1	9	10	10	6
	定点当たり	0.10	0.04	0.03	0.04	0.02	0.06	0.07	0.04	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	1,853	346	7	8	45	84	43	54	105
	定点当たり	0.58	0.36	0.09	0.17	0.78	0.52	0.32	0.21	0.48
急性出血性結膜炎	報告数	14	3	-	-	-	1	2	-	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.03	0.06	-	-
流行性角結膜炎	報告数	630	283	20	14	18	40	50	36	105
	定点当たり	0.91	1.37	1.18	1.17	1.29	1.00	1.43	0.92	2.14
細菌性髄膜炎 #2	報告数	16	5	-	-	-	1	1	2	1
	定点当たり	0.03	0.06	-	-	-	0.10	0.11	0.08	0.11
無菌性髄膜炎	報告数	17	2	-	-	1	-	1	-	-
	定点当たり	0.04	0.02	-	-	0.13	-	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	121	17	2	1	2	3	4	2	3
	定点当たり	0.25	0.21	0.15	0.14	0.25	0.30	0.44	0.08	0.33
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	319	66	5	5	19	11	5	13	8
	定点当たり	0.67	0.81	0.38	0.71	2.38	1.10	0.56	0.52	0.89

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

結 核

- 遺伝子型からみた患者の分布 -

埼玉県では、結核の発生を予防し、結核の発生の状況、動向を把握することを目的に、埼玉県結核菌分子疫学調査実施要領に基づいた結核菌株の収集及び遺伝子型別検査*を平成 28 年 4 月から開始しています。平成 29 年 3 月までに埼玉県衛生研究所で実施した 219 株の解析結果では、2 株以上のクラスターを形成したものは 24 株（クラスター形成率は 11.0%）で、6 つのクラスターが形成されました。遺伝子型は北京型 154 株（70.3%）、非北京型は 61 株（27.9%）、判定できなかったものが 4 株でした。さらに、北京型を細分類すると 116 株（75.3%）が祖先型、33 株（21.4%）が新興型と推定されました（図 1）。患者の年齢に関しては、60 歳以上では祖先型が 9 割を占めたのに対し、60 歳未満ではその割合は減少、新興型が約 4 割を占めていました（図 2）。

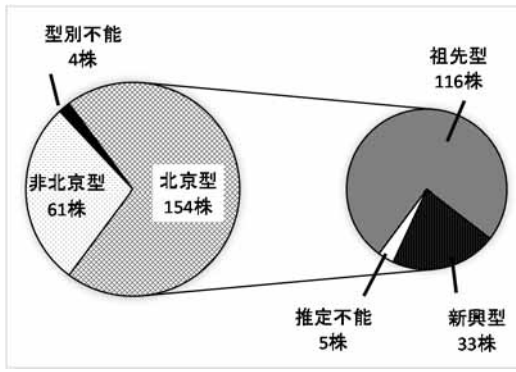


図 1 結核菌の北京型別及び北京型の系統推定

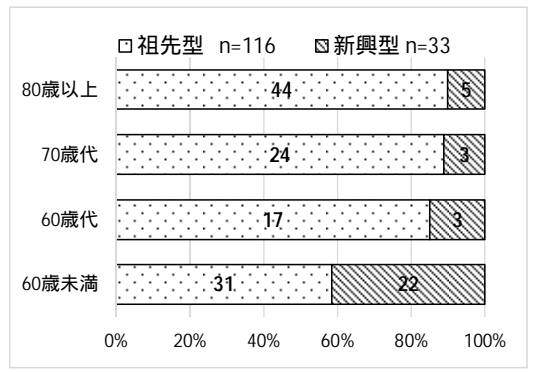


図 2 系統別にみた患者の年齢割合

北京型は東アジアで多く分離されている遺伝子型で、わが国の分離株の 7~8 割を占めています。その特徴として、感染伝播力が強い、薬剤耐性と関連性が高い、発病・再発を起こしやすい等の報告があります。また、新興型の割合は若年層で有意に上昇しており、伝播・発病においては祖先型より勝っているといわれています。

埼玉県における新登録結核喀痰塗抹陽性患者数は、平成 25 年 409 人、平成 26 年 417 人、平成 27 年 347 人で、減少の傾向にありますが、行動範囲が広い若年層における新興型の感染拡大を注視していく必要があります。喀痰塗抹陽性患者を診断された際には、衛生研究所への喀痰検体の提出等、御協力をお願いします。

*反復配列多型 (VNTR) 分析法

感染症発生動向調査 2017年

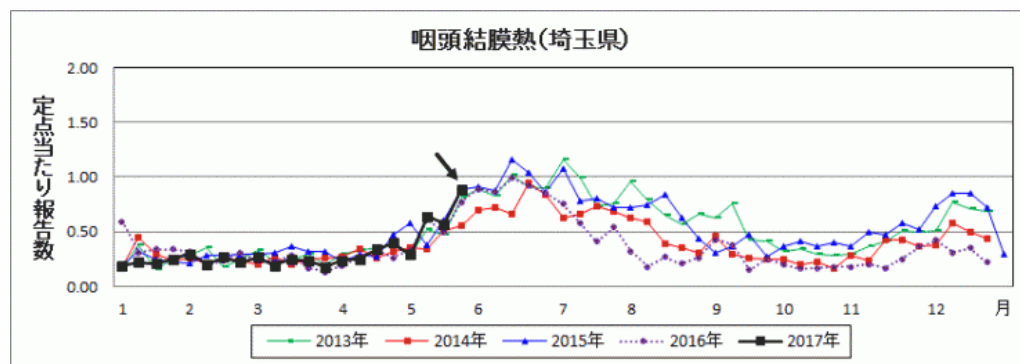
- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第20週](#)

感染症の流行状況 2017年 第21週

2017年第21週（平成29年5月22日～5月28日）の要点 平成29年5月31日

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、前週より大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	↑	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン